



# 環境省におけるスタートアップ支援

2026年5月

環境省 大臣官房総合環境政策統括官グループ  
総合政策課 環境研究技術室



# スタートアップの現況



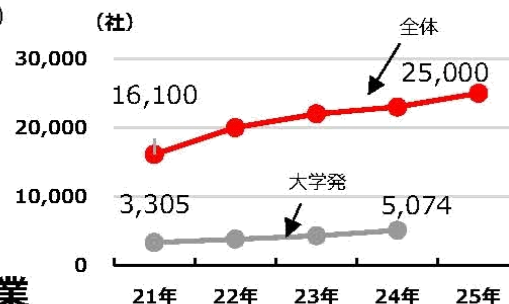
- スタートアップとは、一般的に、新しい企業であって、新しい技術やビジネスモデル（イノベーション）を有し、急成長を目指す企業をいう。
- 我が国のスタートアップ数は25,000社へと増加し、環境関係を含むディープテック※・スタートアップのユニコーン(評価額が10億ドル以上)割合が増加。

※特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術であり、その事業化・社会実装を実現できれば、国や世界全体で解決すべき経済社会課題の解決など社会にインパクトを与えられるような潜在力のあるもの。

## スタートアップ数

対2021年比で約1.5倍に増加

(2021年：16,100社→2025年：25,000社)



## 大学発スタートアップ数

毎年増加傾向で、  
2024年は過去最高の伸び。  
増加分の約57%は東京都以外で創業

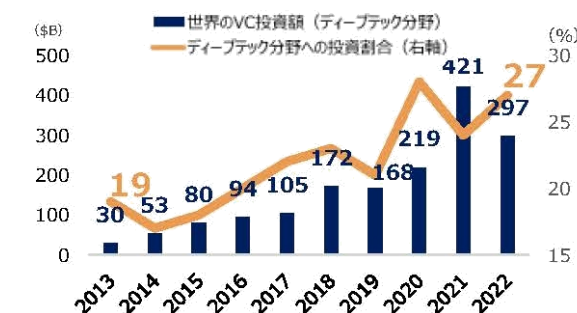
(2021年：3,305社→2024年：5,074社)

(出所) ○株式会社Uzabase, 「スピーダ スタートアップ情報」サーチ  
○日経BPコンサルティング「令和6年度技術開発調査等推進事業大学発ベンチャーの実態などに関する調査」

## ディープテックスタートアップの存在感

柱2：ディープテック・スタートアップの支援

ディープテックスタートアップに対する資金供給と  
ユニコーンに占めるディープテックスタートアップの割合は増加傾向



(出典) 左記：PitchBook Data, Inc. (内閣府「グローバルスタートアップ・キャンパス構想関連調査」より)  
(「グローバルスタートアップ・キャンパス構想に関する有識者会議」(第6回) 参考資料2より)  
※「ディープテック関連」は、公的レポート等でディープテック領域とされる産業・技術分野 (AI、コンピュータ、エネルギー・環境、バイオ・医療ヘルスケア、素材・産業、航空・宇宙、食糧農業) に該当する、PitchBook上の各インダストリー・カテゴリを指す (同有識者会議資料より) 右記：Startup Genome「The Evolution of Tech Unicorns: From Traditional Software to AI and Deep Tech」

世界のディープテック・ユニコーンの割合

2019年：14%→2024年：25%

# 政府全体のスタートアップの位置づけ



- 日本成長戦略において、17の戦略分野の分野横断的課題の一つとして「スタートアップ」を位置付け。
- 城内スタートアップ担当大臣の旗振りの下、ディープテック・スタートアップの支援等について、本年1月から議論中。

## 成長戦略の検討体制

資料1-1

### 日本成長戦略会議



### 経済財政諮問会議

17の戦略分野における官民連携での危機管理投資・成長投資の促進

分野横断的課題への対応

**新設 戦略分野分科会 1月～**  
(分科会長：副長官(衆)、分科会長代理：副長官補(内政)、関係省庁局長級)

① AI・半導体 新設 AI・半導体WG 1月～ ○人工知能戦略大臣 ○経産大臣 ・関係省庁(NSS、国際、金融、デジタル、総務、外務、文科、厚労、農水、国文、環境、防衛) ・有識者9名	⑩ 防災・国土強靱化 ○国土強靱化大臣(出席) 国土強靱化推進会議 防災大臣(出席) 2月～ ・関係省庁(内閣府(防災)、総務、厚労、内閣、国文) ・有識者19名
② 造船 新設 造船WG 1月～ ○国交大臣 ○経済安全保障大臣 ・関係省庁(NSS、内閣府(科技)、入管、外務、文科、経産、環境、装備) ・有識者7名	⑪ 創薬・先端医療 新設 創薬・先端医療WG 1月～ ○科技政策大臣 ○デジタル大臣 ・関係省庁(文科、厚労、経産(いずれも政務)) ・有識者10名
③ 量子 新設 量子WG 1月～ ○科技政策大臣 ・関係省庁(総務(政務)、外務、文科(政務)、経産(政務)、防衛) ・有識者7名	⑫ フュージョンエネルギー 新設 フュージョンエネルギーWG 1月～ ○科技政策大臣 ・関係省庁(文科、経産、規制(部長級)) ・有識者7名
④ 合成生物学・バイオ 新設 合成生物学・バイオWG 1月～ ○経産大臣 ・関係省庁(内閣府(科技、健康医療)、文科、厚労、農水、国文) ・有識者12名	⑬ マテリアル(重要鉱物・部素材) 産業構造審議会 製造産業分科会 ○経産大臣(出席) 2月～ ・関係省庁(内閣府(科技)、外務、文科、環境) ・有識者15名
⑤ 航空・宇宙 新設 航空・宇宙WG 1月～ ○経済安全保障大臣 ・関係省庁(内閣府(宇宙)、総務、文科、経産、国文、防衛) ・有識者10名	⑭ 港湾ロジスティクス 新設 港湾ロジスティクスWG 1月～ ○国交大臣 ・関係省庁(サイバ-統括室、財務、経産) ・有識者9名
⑥ デジタル・サイバーセキュリティ 新設 デジタル・サイバーセキュリティWG 1月～ ○経産大臣 ○デジタル大臣 ・関係省庁(総務、文科、厚労) ・有識者11名	⑮ 防衛産業 新設 防衛産業WG 1月～ ○経産大臣 ○防衛大臣 ・関係省庁(NSS(審議官級)) ・有識者18名
⑦ コンテンツ 新設 コンテンツ産業官民協議会 1月～ ○ICT戦略大臣 ・関係省庁(公取(審議官級)、総務、外務、文科、経産) ・有識者15名	⑯ 情報通信 新設 情報通信成長戦略官民協議会 1月～ ○総務大臣 ・関係省庁(経産、防衛) ・有識者12名
⑧ フードテック 新設 フードテックWG 12月～ ○農水大臣 ・関係省庁(経産) ・有識者7名	⑰ 海洋 新設 海洋WG 1月～ ○海洋政策大臣 ・関係省庁(NSS、内閣府(科技、宇宙)、文科、水産、経産、国文、海保、環境、防衛) ・有識者10名
⑨ 資源・エネルギー安全保障・GX GX実現に向けた専門家WG 1月～ ○経産大臣(出席) ・関係省庁(外務、財務、経産、環境) ・有識者7名	

①【新技術立国・競争力強化】 ○経産大臣 ・関係省庁(内閣府(科技)、文科) 産業構造審議会 経済産業政策新機軸部会等 1月～ ・有識者13名
②【人材育成】 ○文科大臣 ・関係省庁(内閣府(科技)、総務、厚労、経産) 新設 人材育成分科会 1月～ ・有識者4名+テーマごとに2名
③【スタートアップ】 ○スタートアップ大臣、内閣府副大臣、内閣府政務官(スタートアップ・金融)、経産副大臣 ・関係省庁(内閣官房(GSC室)、内閣府(科技、規制)、金融、デジタル、総務、文科、厚労、農水、経産、国文、環境、防衛) 新設 スタートアップ政策推進分科会 1月～ ・有識者10名
④【金融】 ○金融大臣、副長官(衆) ・関係省庁(金融、総務、財務、文科、厚労、経産) 新設 新戦略策定のための 資産運用立国推進分科会 1月～ ・有識者10名
⑤【労働市場改革】 ○厚労大臣 ・関係省庁(内閣官房(成長戦略)、内閣府(規制)、経産省、国文省、文科省) 新設 労働市場改革分科会 1月～ ・有識者11名
⑥【家事等の負担軽減】 ○日本成長戦略大臣 副長官補(内政)・関係省庁(成長戦略)、こ家、厚労、経産) こども家庭審議会子ども子育て支援分科会、労働政策審議会人材開発分科会、労働政策審議会雇用環境・均等分科会等でも議論 新設 家事等の負担軽減に資するサービスの 利用促進に関する関係府省連絡会議 1月～
⑦【賃上げ環境整備】 ○賃上げ環境整備大臣 再編 賃上げに向けた中小企業等の活力向上に関するWG (副長官(参)ヘッド・内閣官房副長官補(内政)、内閣官房(補室(審議官級)、成長戦略、地域未来)、警察、金融、総務、財務、国税、文科、厚労、農水、経産、中企、国文、環境) 中小企業政策審議会、労働政策審議会でも議論 政労使の意見交換 11月～
⑧【サイバーセキュリティ】 ○サイバー安全保障大臣(出席) ・関係省庁(内閣府(サイバ-)、警察、総務、文科、経産、防衛) サイバーセキュリティ推進専門家会議 2月～ ・有識者18名

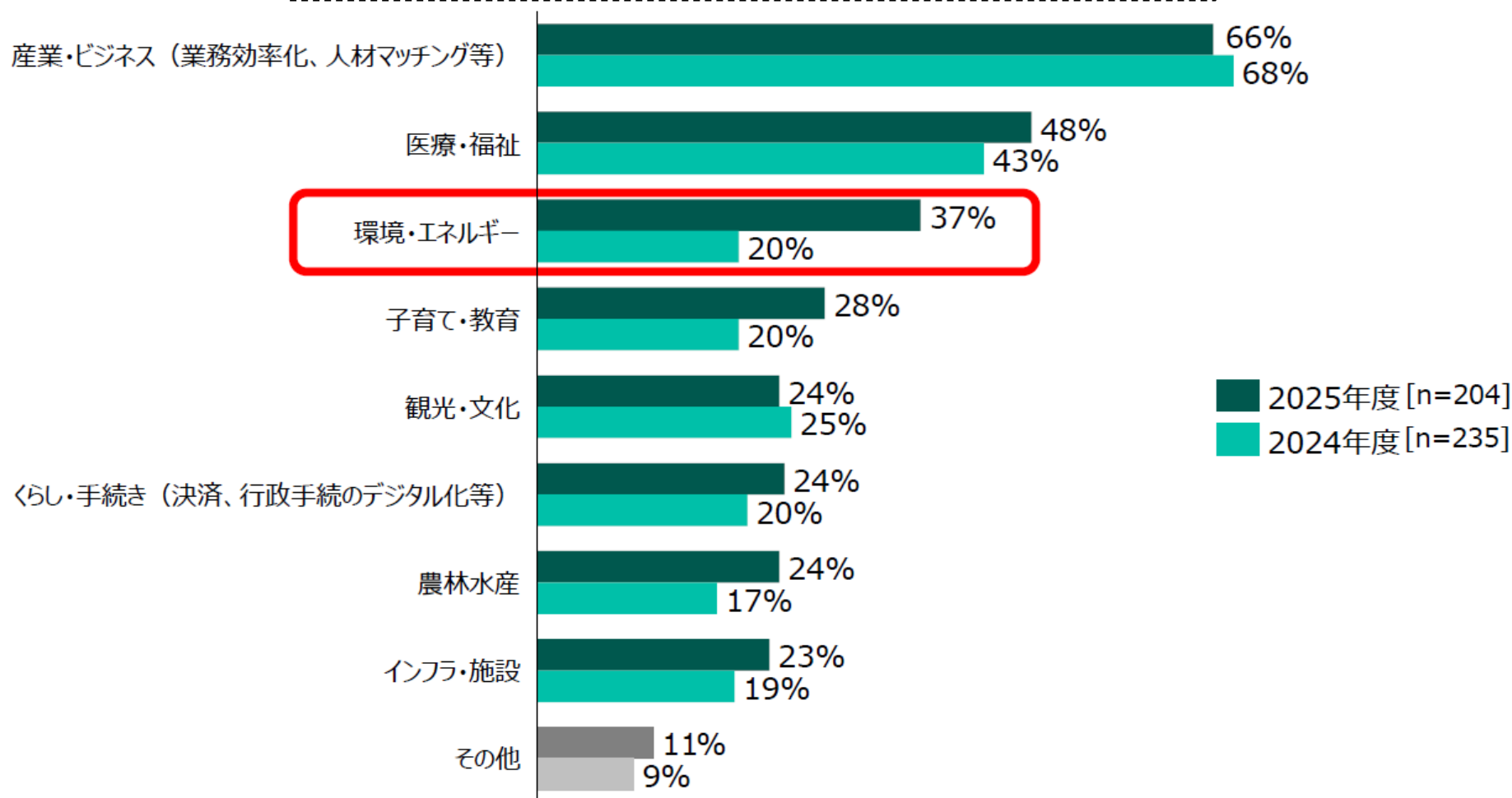


# 環境・エネルギー分野のスタートアップへの支援成約実績・ニーズ



- 「環境・エネルギー分野」への支援ニーズは、「産業・ビジネス分野」「医療・福祉分野」に次ぐ水準に位置し、さらに2024年度調査と比較しても、当該分野の支援ニーズが一層高まっている。

支援実績があるもしくはニーズがあると感じる分野  
(複数選択可)



# 環境省におけるスタートアップ支援の全体像



環境スタートアップの研究開発・事業化をシームレスに支援し、大胆なイノベーションの創出へ

フェーズ1 (事業構想)

F/S、PoC

フェーズ2 (実用化)

R&D

フェーズ3 (事業化)

社会実装の推進

補助金

① 環境保全研究費補助金

(イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業)



Small/Startup  
Business  
Innovation  
Research

(エネルギー起源CO2排出抑制以外)

投融資

③ (株)脱炭素化支援  
機構による投融資



JAPAN GREEN INVESTMENT CORP. FOR  
CARBON NEUTRALITY

補助金・  
委託

② 地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業



Small/Startup  
Business  
Innovation  
Research

(エネルギー起源CO2排出抑制)

実証支援

④ 環境技術実証事業



環境省

表彰・ピッチイベント

⑤ 環境スタートアップ大賞・Green Startup Pitch



ENVIRONMENTAL STARTUP  
AWARD

各制度の最新情報等は環境省HPから→



[https://www.env.go.jp/page\\_00775.html](https://www.env.go.jp/page_00775.html)

# ① 環境保全研究費補助金 (イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業)



## 気候変動・資源循環・生物多様性の統合的な推進が必要

今年度より  
新設!

今年度より  
新設!

(3領域+統合領域を対象とした開発課題)  
環境スタートアップの研究開発・事業化を支援し  
大胆なイノベーションを次々と創出していく

### フェーズ1(事業構想)

F/S、PoC

- 以下のいずれかの技術シーズの事業化検討に必要な**採算性調査、概念実証等**を行う事業。
  - **環境保全に資する**技術シーズ
  - **地域の課題解決及び環境保全の同時実現に資する**技術シーズ

- 補助金の交付額  
対象経費の**全額**  
(上限**400万円**)
- 事業期間  
最大 **1年**

### フェーズ2(実用化)

R&D

- 以下のいずれかの技術シーズの事業化検討に必要な**実用化研究等**を行う事業。
  - **環境保全に資する**技術シーズ
  - **地域の課題解決及び環境保全の同時実現に資する**技術シーズ

一般枠

- 補助金の交付額  
対象経費の**3分の2**  
(上限**3,000万円**  
(総額))
- 事業期間  
最大 **2年**

オープンイノベーション枠

- 補助金の交付額  
対象経費の**2分の1**  
(上限**4,000万円**  
(総額))
- 事業期間  
最大 **2年**

### フェーズ3(事業化)

社会実装の推進

- **環境保全に資する**技術シーズの事業化検討に必要な**大規模技術開発実証**を対象
- 補助金の交付額  
VC等からの**出融資額の倍額**  
(上限**4億円**(総額))  
(年間の上限 **1億円**)
- 事業期間  
最大 **4年**

今年度より  
強化!

外部有識者による 技術的助言・評価 & 事業化に向けた管理・サポート

※1 オープンイノベーション枠は、オープンイノベーションを目的とした既存企業からの一定の出資を要件  
※2 化石燃料由来のエネルギー起源CO2対策のみに資する事案は別の支援事業(後述)

# 環境スタートアップ研究開発支援事業の実績 フェーズ1



## フェーズ1 (事業構想) F/S、PoC

過年度 (R3~R7) 採択実績 (フェーズ1 : 16件)

年度	団体名	領域	事業名
R3	カミエンス・テクノロジー (株)	生物多様性	空撮画像からガンカモ類・海鳥類の種類と数をAIで認識し、環境調査を自動化するシステム
	(株) 豊橋バイオマスソリューションズ	資源循環	バイオマス等の地域資源を有効利用できるメタン発酵の課題(アンモニア阻害)を解決する技術開発
	(株) G-Place	資源循環	使い捨て製品の削減に資するリターナブルのカップ又は弁当容器のシェアリング事業
	(株) オーシャンアイズ	気候変動	誰でも使える海洋気候変動情報基盤の構築(気候変動適応策の検討に資する気候予測と、そのダウンスケール手法の開発)
R4	マイクロバイオフィクトリー (株)	資源循環	使用済み衣服を原料としたインジゴ染料生産開発
	(株) Gaia Vision	気候変動	気候変動による将来洪水リスクのデータと分析アプリの開発
	(株) Ambitious Technologies	資源循環	船上搭載型海洋プラスチック(マイクロプラスチックを含む)回収装置
	貫井憲之 (BioPhenolics (株))	資源循環	バイオマス由来の芳香族化学品製造技術開発
	BioAlchemy (株)	資源循環	昆虫とバイオテクノロジーを活用した有機残渣の飼料化
R5	(株) イノカ	生物多様性	海洋生態系テストングラボ事業
	(株) エーエスピー	資源循環 (気候変動)	農産物(残渣)・ホエイ(副産物)の合成 + 海藻(端材) → 新原料創出(家畜のメタン排出抑制飼料)
R6	(株) サンシキ	気候変動	反芻動物由来のメタン排出量を低減する海藻飼料に関する研究開発事業
	(株) エマルションフローテクノロジーズ	生物多様性	溶媒抽出技術によるPFAS除去・回収に関するFS事業
R7	矢部 光保	資源循環	糸島のワイナリー・ビール残渣等を活用した資源循環モデルの構築と、廃棄物由来のバイオスティミュラント肥料の開発に関するF/S・PoC事業
	株式会社プラーツ	資源循環	再生困難な廃プラを原料とした車体材料品質マテリアルリサイクルプラスチックの事業化に関するFS事業
	株式会社オカラテクノロジズ	気候変動	廃棄物からを利活用した健康素材開発事業

# 環境スタートアップ研究開発支援事業の実績 フェーズ2



## フェーズ2(実用化) R&D

過年度 (R3~R7) 採択実績 (フェーズ2 : 13件)

採択年度	団体名	領域	事業名
R3	(株) イーアイアイ※	資源循環	飲料容器を対象とした低コスト人間支援型AI 自動選別ロボットの開発
	Symbiobe (株)	気候変動	光合成細菌を用いた二酸化炭素固定屋外デモプラント実証事業
R4	AC Biode (株)	資源循環	バイオマス灰、下水汚泥灰、製紙灰等を吸着剤・抗菌性機能材等へリサイクルする技術の開発
R5	(株)ドローンセンセーション	気候変動	大気環境測定システム(ドローンタワー) → 気候変動データ(地表~高度500m)の効率的取得
	Planet Savers(株)※	気候変動 (+資源循環)	ゼオライトベース革新的吸着剤 + 高効率システム → 大気中の二酸化炭素直接回収装置 (Direct Air Capture: DAC)
R6	ライノフラックス (株) ※	資源循環	バイオマス資源を用いた高効率・分散型エネルギー変換技術の
	(株) ピリカ	資源循環	自動車xAIを活用したごみの散乱・流出状況計測プラットフォームの実用化研究事
R7	株式会社サンシキ ※	気候変動	海藻のスマート養殖プラットフォーム構築のための研究開発事業
	株式会社シンコーホールディングス ※	資源循環	PFAS処理に関する事業
R5補正 (オープン イノベーション枠)	タケ・サイト (株)	気候変動	建設廃棄物を用いたCCU粉体の量産に係る研究開発事業
	AZUL Energy (株)	資源循環	バイオマス由来炭素材料のエネルギーデバイス適応に関する研究開発事業
R6補正 (オープン イノベーション枠)	株式会社Opening Line	気候変動	森林・木造トレーサビリティ構築に関する研究開発事業
	株式会社yuni	資源循環	ローカルかつ最適な素材循環を実現するAIエージェントに関する研究開発事業

※ (株) イーアイアイ、Planet Savers(株)、ライノフラックス (株)、株式会社サンシキ、株式会社シンコーホールディングスは2カ年採択

2030年までにGHG46%削減 2050年までの脱炭素社会実現

(大幅にCO2排出量を削減する技術開発：国が中長期的に主導・推進)

直接的にエネルギー起源CO2排出抑制に  
資する技術について、FS～実用化支援

## フェーズ1 (事業構想)

FS、POC

スタートアップ枠

- エネルギー起源 CO2 の排出抑制に直接資する技術シーズの事業化検討に必要な 実現可能性調査(FS)及び概念実証 (POC) を行う事業を対象
- 補助金の交付額  
定額 (上限 **1,000万円**)
- 事業期間  
最大 **1年**

## フェーズ2・3 (実用化・事業化)

R&D

テーマ枠/ボトムアップ枠

- エネルギー起源 CO2 の排出抑制に直接資する技術シーズで、将来的な地球温暖化対策の強化につながる CO2排出削減効果の高い技術開発・実証 を対象  
※スタートアップに限定しない
- 経費の交付額 (委託、補助)  
**5億円 (最大)**  
(※ 補助の場合1/2)
- 事業期間  
原則 **3年度以内**

令和4年11月  
(内閣府 新しい資本主義実現会議決定)  
**スタートアップ育成5か年計画**

(政府一丸で大規模なスタートアップ創出)  
**令和5年度より**  
**スタートアップ枠を設け支援**

# 地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業の実施例



## フェーズ1 (事業構想) FS、POC

※令和7年度新規採択実績

団体名	スタートアップ枠	事業名
(株) ElectroFluxion		化学品製造の電化に向けた自動電解実験システムのFS事業
(株) 2DC		導波路方式ワイヤレス給電の国際規格適合と道路敷設方法の研究事業
(株) EXELIM		未利用エネルギーの有効活用に資する量子ドット熱電変換技術の開発
織田 藍作		SO <sub>2</sub> 電解におけるシステム・セル設計に関するPoC事業
(株) クォンタムフラワーズ&フーズ		中性子線育種によるメタン生成微生物叢改良技術の実証事業
(株) QioN		地産地消型グリーンアンモニア製造・供給に関するFS事業
AC Biode (株)		従来焼却・埋立せざるを得なかった混合・多層廃プラ等のケミカルリサイクルに関するFS事業

## フェーズ2・3 (実用化・事業化) R&D

※過年度採択実績

団体名	テーマ枠/ボトムアップ枠	事業名
(株) マリンエナジー		インテリジェント吸波式波力発電による地域経済循環ビジネスモデル実証事業
エレファンテック(株)		印刷による低環境負荷の回路基板製造技術の大規模量産技術開発

# ③株式会社脱炭素化支援機構（JICN）



## 脱炭素に資する多種多様な事業に対する投融資 （リスクマネーの供給）を行う官民ファンド

### 組織の概要

【設立年月日】令和4年10月28日

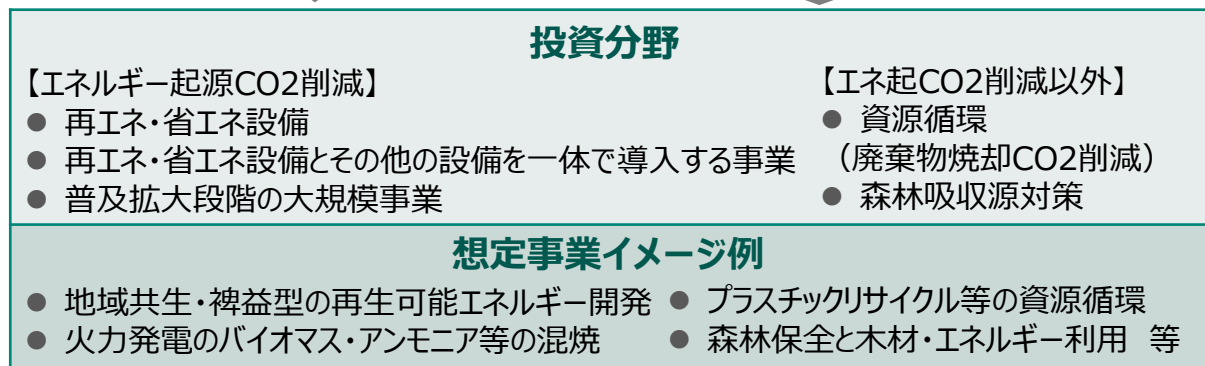
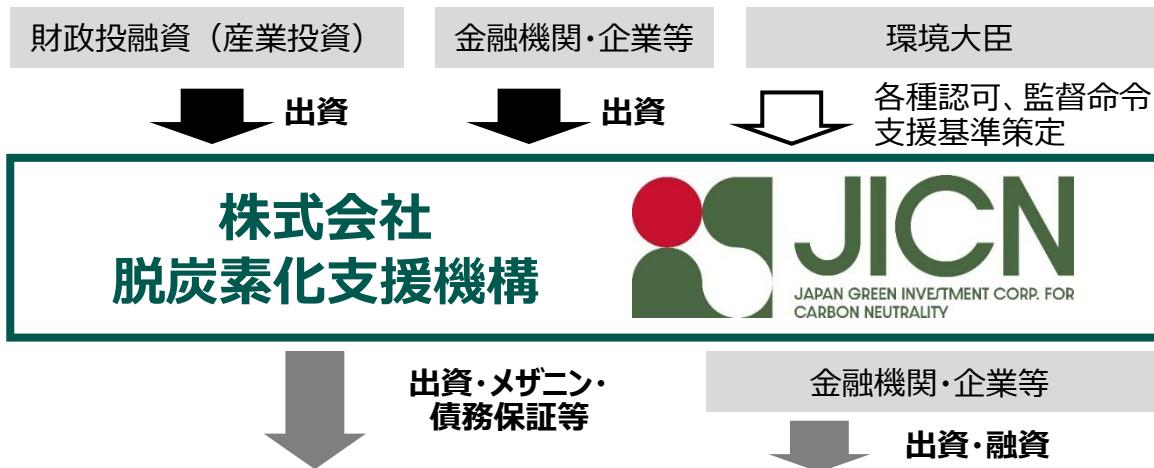
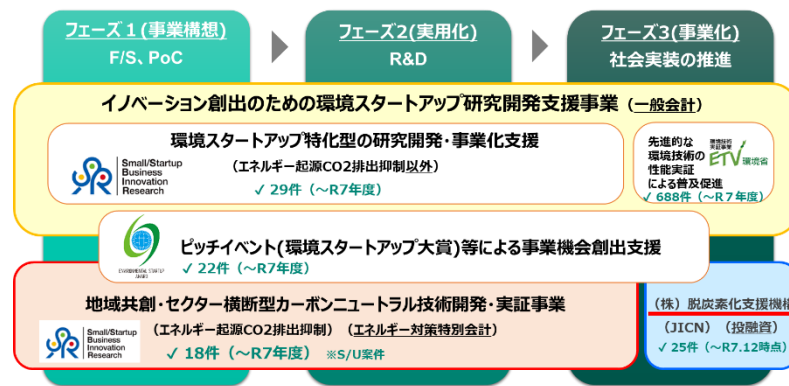
【代表者】代表取締役社長 田吉 禎彦

【出資金】651.5億円

- 民間株主（84社、110億円）
  - ・金融機関：日本政策投資銀行、3メガ銀、地方銀行など56機関
  - ・事業会社：エネルギー、鉄鋼、化学など27社
- 国（財政投融資、541.5億円）
  - ・R8：最大700億円（産業投資と政府保証の合計）

### 支援対象・資金供給手法

- 再エネ・蓄エネ・省エネ、資源の有効利用等、脱炭素社会の実現に資する幅広い事業領域を対象
- 出資、メザニンファイナンス（劣後ローン等）、債務保証等を実施



脱炭素に必要な資金の流れを太く・速くし、地方創生や人材育成など価値創造に貢献




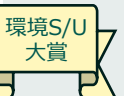

# JICN支援 スタートアップ支援採択例



## フェーズ3(事業化) 社会実装の推進

スタートアップに対する支援決定数：28件（令和8年5月21日時点）

<採択例>

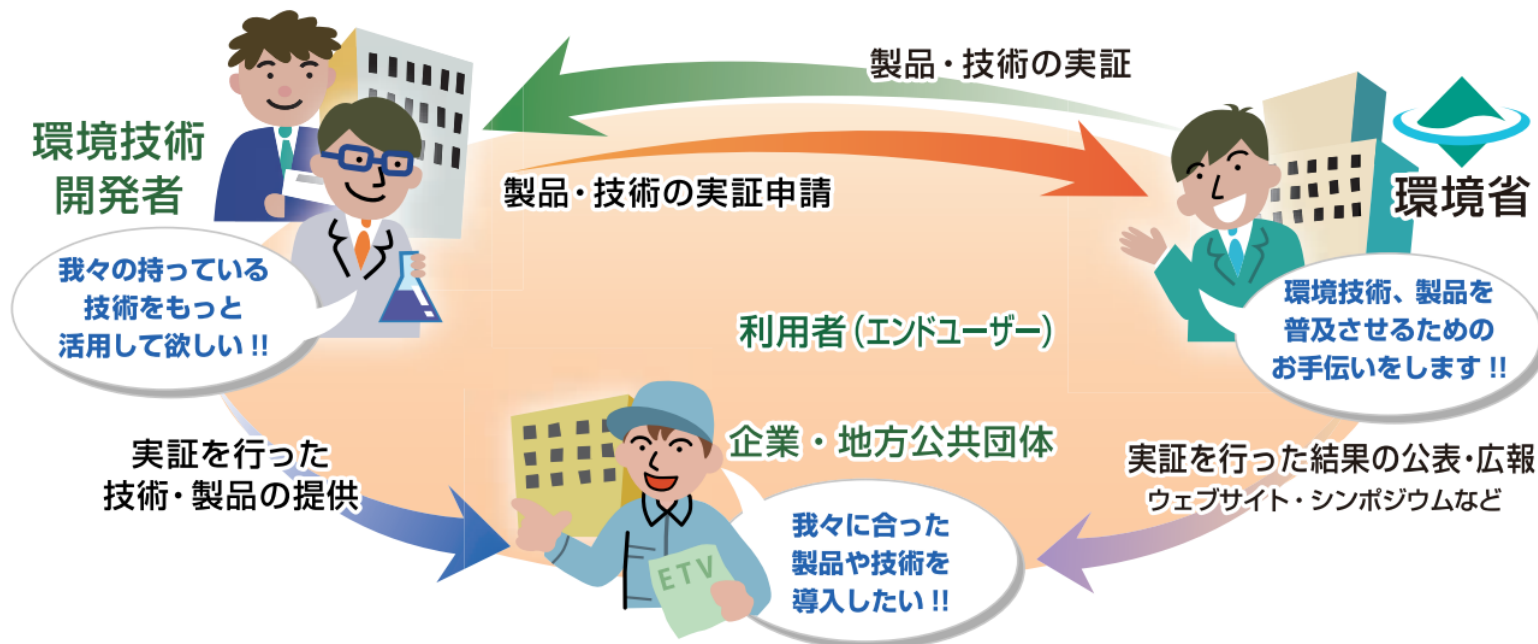
スタートアップ	概要
 <b>WOTA (株)</b>	過疎地域や島しょ地域などにおける水インフラの持続可能性に貢献する <u>小規模分散型水循環システム</u> の開発、製造、販売。
<b>(株) ゼロボード</b>	事業者の脱炭素対策の策定を支援する <u>GHG排出量の算定・可視化のシステム</u> を開発、提供。
 <b>エレファンテック (株)</b>	電子回路基板の製法として、 <u>金属をナノインク化し必要な部分のみに直接印刷</u> する独自技術を開発、販売。
<b>(株) パワーエックス</b>	再エネ普及のための <u>蓄電池、ソフトウェア、電力供給をワンストップで提供</u> しEVチャージャーステーションを普及・拡大。
<b>(株) ファームステーション</b>	食品残渣及び食品廃棄物などの <u>未利用バイオマス</u> から、会社独自の「発酵アップサイクル技術」を用いてエタノール・発酵原料などの高付加価値なバイオ素材を生成。
 <b>(株) Green AI</b>	脱炭素に資する対策をデータベース化し、各企業のデータを元に、 <u>経済性のよい対策を提案する脱炭素計画策定システム</u> を開発、提供。
<b>Nature (株)</b>	<u>家庭向けエネルギーマネジメント事業</u> として、エネルギー使用の効率化を図る製品の開発・製造・販売。
 <b>アスエネ (株)</b>	<u>GHG排出量算定、可視化クラウドサービス及びESG評価レーティングクラウドサービス</u> を提供するスタートアップ企業。利用事業者に対し、可視化のみならずクレジット売買、削減手段もクラウドを通じて提供。
 <b>EF Polymer (株)</b>	<u>作物残渣をアップサイクルした、100%天然由来かつ完全生分解性の超吸水性ポリマー</u> の開発、製造、販売。

# ④環境技術実証事業 -ETV-



## 制度の概要

- スタートアップ等の先進的な環境技術で普及が不十分である技術に対し、環境保全効果等を第三者機関が客観的に実証することで、その技術性能に対して信用を付与(実証に係る費用の一部※を本事業で補助)  
※実証計画の策定、技術実証検討会の運営、報告書作成等に係る費用等
- 環境省及び技術実証運営・調査機関の管理のもと、信頼できる第三者機関（実証機関）が、ISO 14034に基づき、環境技術の環境保全効果、副次的な環境影響を実際の現場等で実証
- 実証報告書を広く公表、実証済み技術にロゴマークを付与することで、環境技術の普及を支援
- 実証実施から3年経過した企業に対してフォローアップ調査を実施しており、令和4年度調査において、「本事業の実施を通じて信頼性の向上等の効果が得られた」と回答のあった事業者は71%であった
- 平成15年度から令和7年度末までに計688件を実証 ○ 米国、EUを始めとした諸外国においても実施



# ⑤環境スタートアップ大賞



## 優れた環境スタートアップ企業を表彰し、 知名度向上や事業機会創出等を支援

(表彰状の授与・基調講演・受賞者ピッチ等によるビジネスマッチング)

- 未来に向けた**環境技術のイノベーションの創出の加速及び社会実装の推進**を図ることを目的に、令和2年度より新たなイノベーションの創出に寄与する環境スタートアップ企業を表彰

### 環境スタートアップ大賞の種類

#### (1) 環境スタートアップ大臣賞 (1社)

最も評価の高いスタートアップ企業

#### (2) 環境スタートアップ事業構想賞 (1社)

実績を問わず、今後のビジネスの成長が期待される最も評価の高いスタートアップ企業 ※ 評価項目⑥を除外

#### (3) 環境スタートアップ選定委員賞 (数社)

上記の(1)及び(2)に次ぎ評価の高いスタートアップ企業の事業を選定



- 受賞イベントを開催し、優秀者の表彰と受賞者によるピッチなどを行い、知名度のアップや事業機会を創出

評価 項目	① 成長・チャレンジ性	② 環境保全性	③ イノベーション創出
	④ 市場性の魅力	⑤ 事業体制	⑥ 実績

\* 有識者で構成される選定委員会で決定

# 環境スタートアップ大賞 - 過年度受賞者及びイベント実績 -



- 令和7年度までに計**22件**のスタートアップを表彰（応募：計**332件**）
- 令和7年度までに計約**1,200人**がピッチイベントへ参加  
（R2年度：81件・約550人、R3年度：29件・116人、R4年度：65件・82人、R5年度：34件・47名、R6年度：52件・262名、R7年度：71件・158名）

	環境スタートアップ大臣賞	環境スタートアップ事業構想賞	環境スタートアップ選定委員賞 ※令和4年度より設立 令和3年度まではファイナリスト扱い
令和7年度	<b>Oishii Farm Corporation</b> 植物工場でのいちご安定量産技術	<b>Planet Savers (株)</b> ゼオライトDirect Air Capture	(株) エマルションフローテクノロジーズ 目的成分のみを選択的に抽出する溶媒抽出技術 (株) クォンタムフラワーズ&フーズ 中性子線照射による高速育種技術
令和6年度	(株) E サーモジェンテック 低温廃熱からの高い熱回収効率の熱電発電技術	(株) E プラス CCFR (Carbon dioxide Capture Fuel Recycle)	カーボンエクストラクト (株) (株) Green AI (株) comvey (株) 中川
令和5年度	(株) Gaia Vision 気候変動適応に貢献する高精度な洪水予測	(株) TOMUSHI カプトムシを用いた循環型廃棄物処理事業	なし
令和4年度	アスエネ (株) サプライチェーンCO2排出量の見える化・削減&脱炭素経営	(株) バイオーム 自然環境のデジタルデータ見える化	SPACECOOL (株) エレファンテック (株) (株) イノカ (株) アジャイルエナジーX
令和3年度	EF Polymer (株) 生ゴミ等を原料とした生分解性の吸収性ポリマー	サグリ (株) 衛生画像データによる農地の土壌環境管理	Fracta Leap (株)
令和2年度	(株) ピリカ スマホアプリを活用したゴミ問題対策	WOTA (株) 自律分散型水循環システム	ウミトロン (株) (株) ポーラスター・スペース (株) グラリス (株) エネファント

フェーズ1(事業構想)  
F/S、PoC

フェーズ2(実用化)  
R&D

フェーズ3(事業化)  
社会実装の推進

**補助金**  
**①環境保全研究費補助金**  
**(イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業)**



(エネルギー起源CO2排出抑制以外)

**投融資**  
**③(株)脱炭素化支援機構による投融資**  
**JICN**  
JAPAN GREEN INVESTMENT CORP. FOR CARBON NEUTRALITY

**補助金・委託**  
**②地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業**



(エネルギー起源CO2排出抑制)

**実証支援**  
**④環境技術実証事業**  
環境技術実証事業  
ETV 環境省

**表彰・ピッチイベント**  
**⑤環境スタートアップ大賞・Green Startup Pitch**



持続可能な社会の実現に向けて、  
**気候変動・資源循環・生物多様性の  
統合的な推進が必要**

政府全体で各ステークホルダーとともに、

**スタートアップの研究開発・  
事業化をシームレスに支援し、  
大胆なイノベーションを創出していく**

■ 参考：各事業のスケジュール（過年度の例で今後変更の可能性あり）

事業	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
環境保全研究費補助金 (イノベーション創出のための環境スタートアップ研究開発支援事業) (エネルギー起源CO2排出抑制以外)			公募	審査	研究開発・伴走支援							成果発表 中間審査	2カ年採択の場合は 継続して研究開発	
地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業 (エネルギー起源CO2排出抑制)				公募	審査	研究開発								
環境スタートアップ大賞・Green Startup Pitch						公募			審査	表彰・ピッチ				